

ここ数年、国内外で大きな災害が発生しています。そんな時に活躍するのが災害救助犬です。しかし、意外にその認知度は低く、どのように育成されているのか知られていません。そこで今回は、災害救助犬を紹介します。

災害救助犬とは

災害救助犬は、地震や土砂崩れなどの災害で、倒壊家屋や土砂などに埋もれ助けを必要とする人を、主にその嗅覚で迅速に見出し、その救助を助けるように訓練された犬のことです。

犬種は限定されていませんが、ジャーマン・シェパード・ドッグやラブラドル・レトリバーなどの大型犬が多くなっています。

しかし、倒壊家屋にできた狭い隙間でも活動できるビグルやダックスフントのような小型犬も増えてきていま



▲模擬災害現場で要援護者を捜索中のマルルー号

災害救助犬の特性

す。

地震などによる家屋崩壊現場で被災者を捜索するの得意とする救助犬の特性は、瓦礫の上でも通常通り活動できるといふ事です。警察犬の様に訓練された犬でも瓦礫のような不安定な場所だとその能力が十分に発揮できません。そして最大の特性は、瓦礫

災害救助犬にならば

の中の生存者を第一に見出すように訓練されていることです。救助犬には瓦礫歩行訓練と救助を要する被災者の捜索訓練は欠かせないので。

まず基本的な訓練を行い、災害救助犬としての適性をみます。訓練内容は「人を探す」「人を見つけたら吠える」「指示を守る」ということが基本の訓練です。初めは立ち木などの向こう側に人が隠れているのを見つける「かくれんぼ」からスタートし、犬も楽しんでながら訓練をします。うまくできるにつれ難易度を上げていき、最終的には模擬災害現場に人が隠れ、それ

災害救助活動の現状

を捜し出す訓練を行います。基本的な訓練を重ねた後、救助犬認定試験にチャレンジします。試験に合格した後も、いざという時のために毎日訓練は続けます。

災害救助犬の団体は、全国規模で活動している団体が4つあり、その他に各地にローカルな団体が多数あります。国内では、認定基準が定められていないため、各団体が各々の基準で認定している状態です。

また、災害救助活動はボランティアとしての活動です。そのため、各団体が自治体と「災害救助犬の活動に関する協定」を締結し、いざという時には迅速に活動できる態勢をとっています。

今後このような活動が各地に広がり、活躍の場が増えていけばいいですね。

後編 記集



マルルー号は、県内でも数頭しかない災害救助認定犬で、さらなる活躍が期待されます。

阪神大震災で登場したスイスの災害救助犬や、新潟県中越地震で車ごと土砂に埋まった幼児を発見した警視庁の災

田中公恵さん～災害救助犬マルルー号のハンドラー(指導手)～

<始めたきっかけ>

元々は老人施設などを訪問するセラピー犬のボランティアを考えていました。しかし、通い始めたしつけ教室の先生



がたまたま災害救助犬の育成もしていて、一般人にも可能と知りマルルーも訓練を始めたところ、ぐんぐんと能力を発揮しすぐに認定を受けました。

実は、5カ月の子犬のとき家の門扉に首がはまって抜けなくなり、消防のレスキュー隊に助けられました。同じ時期に宝塚の防災フェアを訪れた際、ドッグダンスなど他の催しもある中、マルルーが災害救助犬のデモンストレーションを食い入るように見つめていたこともあり、ご縁と適性の両方を感じます。昨年の佐用町の水害では捜索の最終日に出勤しました。

私自身も、防災リーダーと救命救急の講座を受け、防災士の資格も取りました。

<いつでもお役に立てるよう、日々訓練を重ねています>

毎年夏に3日間、災害救助犬の訓練合宿に参加します。また、一年を通して服従訓練とアジリティ(障害物競技)の訓練に励んでいます。この2つは災害救助犬にとって重要です。特に、災害地ではリードなしで活動するので言葉だけで行動させる訓練は不可欠ですし、アジリティは足元の不安定な所に慣れるので災害地の瓦礫も怖がらず歩いて効果的です。

目標があると成長するので大会にも多く出場します。訓練や大会を通じて犬も人も忍耐力と集中力がつき、一緒に成長します。救助犬は究極を求められるので、このような精神力はとても大切です。

マルルーは、訓練や大会になると普段は大好きなボールやおやつには見向きもせず、やる気と集中力をみなぎらせます。これも適性です。すごいなと思います。

<こんな活動もしています>

防災フェアなどでのPR活動も大切な仕事です。災害救助犬のPRはもちろん、災害救助犬の活動を通じて犬のしつけや飼い方を考えるきっかけにしたいし、行方不明防止にマイクロチップの必要性も広めたいです。

そして、犬は優れた能力と豊かな心を持つ素晴らしい生き物だということを伝え、多くの人に犬を好きになってほしいです。



▲災害救助犬マルルー号

がんばっています

災害救助犬

「いながわ特派員」